

第 3 回 泉中学校再編検討委員会 会議録

日時	平成28年2月22日(月) 19時00分～19時38分
場所	泉市民館
出席者	委員 (17名) 山内六男、鈴木和朗、伊藤正幸、渡辺好崇、花井俊郎、廣中一郎、太田完一、埴原正男、樺山節生、千賀修治郎、山内正久、神谷佳予子、清水千里、橋爪香奈子、中村八重美、彦坂登一朗、山本忠史 事務局 (7名) 花井教育長、前田教育部長、鈴木努教育総務課長、三竹教育企画室長、鈴木欽也学校教育課長、鈴木淳一渥美支所地域課長、清水教育企画室主任
欠席者	天野英夫委員、渡会真由美委員、花井 充委員
傍聴者	3名
事務局	開会
委員長	こんばんは。皆さんにおかれましては、仕事でお疲れのところ、また寒い中、泉中学校再編検討委員会に参加していただきまして、ありがとうございます。 これまでも皆さんといろいろ検討してきました。東愛知新聞の記事を配りましたけれども、伊良湖岬中学校で若干変化があったことを前提に、このまちのため、子どもたちのため、何がいいのか、その点も配意して検討していきたいと思います。早速、協議事項に入ります。 協議事項1 泉中学校の再編について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料1により説明) ・泉中学校再編検討委員会等の開催状況 ・再編検討委員会、泉校区意見交換会で出された主な意見 ・伊良湖岬中学校統合検討委員会の動向
委員長	ありがとうございました。 説明が終わりました。御意見、御質問がありましたらお願いします。
委員	伊良湖岬中学校の統合先の決定時期を延ばして、意見のすり寄せをどういうふうにしていこうと皆さんは思っているのでしょうか。
事務局	来年度も引き続き協議を進めていく予定で考えています。皆さんの意見をもう少し丁寧に聞きながら、ある程度、スケジュールを立てて進めていきたいと思っています。市の方向性も考慮しながら、あわせて協議したいと思っています。
委員長	市として、おおむね伊良湖岬中学校の統合先の決定時期は決まっていますか。
事務局	具体的には決まっていません。意見交換会の意見を踏まえて考えていきたい。
委員長	どなたか御意見ございますか。
委員	伊良湖岬地域の方針変更があったとのこと。例えば伊良湖岬中学校の跡地に伊良湖岬小学校の新校舎を建てると聞いているが、その時期は。
事務局	今の予定では、平成30、31年度で伊良湖岬小学校を建設して、平成32年度に移転する計画です。

委員	当初は平成 27 年度末までに伊良湖岬中学校の統合先を決定する予定が変更になったわけですが、伊良湖岬小学校の新しい校舎の建設は十分間に合うのですか。
事務局	平成 28 年度中の早い時期でしたら、予定どおり平成 30、31 年度に建設できると思いますが、例えば、仮に統合時期が延びることがあれば、建設時期が延びる可能性もあります。伊良湖岬小学校の基本設計の準備もしておりますので、伊良湖岬小学校の建設は進めていくつもりです。
委員	学校の統廃合について、「野田中学校の統合が白紙にならないか」「田原市全体を考えて統合をやれないか」という意見を聞きました。 泉校区の中でも、早いころ、赤羽根中学校か福江中学校のどちらの学校へ行ったらいいかとのアンケートをとりました。そのとき、一番多かったのが赤羽根中学校。次に福江中学校、それから野田中学校。中には田原中学校という意見がありました。いまだに、「野田中学校と泉中学校と赤羽根中学校の三校が一緒になればいい」という意見も聞きます。状況を教えてください。
事務局	平成 28 年 4 月に野田中学校が田原中学校へ統合しますので、それを白紙にすることは難しいです。 伊良湖岬小学校についても、まずは、旧和地小学校でスタートしましたが、新しい校舎をつくることは予定どおり進めたいと考えています。 伊良湖岬中学校についても、協議を進めていく中で統合先を考えていく予定です。統合をやめることは、今のところ考えておりません。
委員	私も自分なりに状況の説明はしていますが、そういった意見を聞いたので言わせてもらいました。
事務局	昨年度、伊良湖岬中学校の統合は決まっているので、泉校区とは違う点かなと思います。
委員長	保育園の P T A の方はどう思われますか。
委員	11 月の泉校区意見交換会では、「泉中学校は統合する」、「統合先を赤羽根中学校か福江中学校のどちらにするのかを決める」と思って集まっていた保護者が大体でした。いざ意見交換会のふたをあけてみたら、また振り出しに戻っていて、「アンケートは何だったのか」、「熱が冷めたというか、どちらでもいい」という意見が多くなり、「統合の話すら出なくなった」という意見がすごく多かった。「また一から話して、ずっとこの繰り返しなのではないか」という話も挙がりました。 あと、「家庭内の意見、子どもの意見も十分聞いてほしい」とあったのですが、小学 5 年生の娘に統合についてどう思うか聞いたのですけれども、実際のところ、子どもはわからないという話でした。多分皆さんのお子さんも、そういう子が多いのではないかと思います。 あと、「野田中学校の統合の状況をどのように判断するのか」、「野田の保護者が意見交換会を開いてくれるのか、どうやって野田の状況を見るのか」との話も出ました。 泉中学校の統合の話が、すぐそこという感じで受けとめているから、みんなで一生懸命子どものために話しているのに、また統合の話が白紙になって、10 年後かもし

	<p>れない、もっと先かもしれないとなれば、自分たちの子どもには関係なくなってしまうので、何のために話しているのだろうという声が周りから聞こえてきています。</p> <p>「多分、統合しないのでは」という話もあったので、これからどのようになるのか。将来的に統合する方向であることは、みんな多分わかっているのだから、どちらでもいいから、このふわふわした状態をはっきりしてほしいという意見を多く聞いています。以上です。</p>
事務局	<p>御意見ありがとうございます。意見を出してもらいながら、泉中学校再編検討委員会の中で、再編についての方向性をまとめていただいて教育委員会に出していただければと思います。この再編検討委員会はここで終わりではなくて、来年の早いうちに統合先を決めていければということです。</p> <p>伊良湖岬地域では、丁寧に意見などを聞くために、今年度 3 月末までに統合先を決定する予定を延期していくものです。</p> <p>皆さんで意見を言い合う場が必要なのかなと思っています。</p>
委員	<p>何を聞いても、本当におっしゃるとおりだなと思っています。</p> <p>伊良湖岬中学校の新聞記事や事務局の説明にあるように、時間をかけてということも確かに大事だろうし、今、発言された、みんなの熱が冷めかけているというのも多分事実だと思う。本当に中学校 3 年間のことを議論するのに 5 年も 7 年も 10 年もということになれば、当然、当事者から外れるわけです。お子さんが小学 5 年生だったら、3 年先の統合に当たるわけですけれども、5 年先だったら過ぎてしまっている。そういう保護者の方が見えるので、具体的に形が決まらない中にも、タイムスケジュールを決めたほうが考えやすい、決めやすいところもあるのではないですか。</p>
事務局	<p>次回以降、タイムスケジュールを考えて進めていきたいと思っています。</p>
委員長	<p>伊良湖岬小学校の保護者のアンケートでは、福江中学校が圧倒的に多いという意見は出てきましたけれども、伊良湖岬地域も現在、迷っていると思うのです。</p> <p>皆さん御存じのように、福江高校と福江中学校が連携して、中高一貫校ではないですが、連携して、まちの発展のためにやっていくという、ふるさと創生事業なども取り上げられております。</p> <p>野田中学校も 4 月から田原中学校でスタートします。部活動の状況を含めて野田地域の様子を見て、泉地域は赤羽根中学校へ行く場合も福江中学校へ行く場合もスクールバスと言われておりますので、参考になると思います。今年度決定するには、もう 3 月しかありませんので、少し無理だと思います。</p> <p>したがって、教育委員会から示されたスケジュールで、泉中学校の再編検討委員会も、ずれ込んで検討していったらいかがなものでしょうか。時間的にもそれしかないと思われまます。</p>
委員	<p>1 回目の学校を考える会は平成 25 年度でした。第 2 回目の学校を考える会でアンケートをとったと思う。そういうことを考えれば、先ほどの意見のように、余り長引いてしまうと、今の委員も任期が来れば、新しい人になってしまう。</p>
委員長	<p>今回、その指摘を受けましたので、PTA 役員や自治会長に残ってもらう方向で提</p>

	案したいと思っています。
委員	先ほど出たように、あまり長引くと熱が冷めてしまうというのも一つあると思う。
委員長	では、きょうも結論は出せませんので、平成28年度に引き続き協議を進めていき、再編の方向を平成28年度中には出すということによろしいでしょうか。 このような考え方を了承していただけますか。
委員	先ほど言われたように、田原中学校での野田地域の状況をどうやって我々は知るかといえば、なかなか方法がない。教育委員会ホームページの検討委員会の議事録などのような形で、何か閲覧できるものがあればいい。いろいろな意見が出てくると思うので、そういう意見を知らせてほしい。そうすれば、何となく察しがつくと思う。
事務局	4月からの野田の状況につきましては、具体的に知りたいことがあれば、田原中学校に状況を聞いて、またお伝えすることもできると思います。
委員長	では、了承ということで、平成28年度に引き続き協議していくということで、よろしくお願ひしたいと思います。 それでは、再編検討委員会については来年度も引き続いて行っていくわけです。 平成28年度の泉中学校再編検討委員会は、ことしの委員に何人か残って、引き続き協議に加わっていただきたいと考えております。 事務局、説明をお願いします。
事務局	来年度も検討委員会で引き続き協議を進めていくとのことです。 再編検討委員会の委員は、校区会長、自治会長、PTA会長など、役職でお願いしていますが、平成28年度も委員として何人か残って、引き続き協議に加わっていただきたいと思います。 事務局としては、今の校区会長、自治会長の中から2、3名。泉中学校PTA会長と泉小学校PTA会長には残っていただきたいと考えております。 いかがでしょうか。
委員長	自治会長は、江比間自治会長と伊川津自治会長2名が残ります。よろしくお願ひします。PTAのほうは、いかがでしょうか。
委員	まだわかりません。
委員長	誰が残るか決まったら市民館へ連絡してください。 それでは、残っていただく委員については、大変御苦勞なことです、御理解いただいて、よろしくお願ひしたいと思います。 その他で何かございますか。事務局、よろしくお願ひします。
事務局	次の会は、来年度開催予定です。先ほど皆さんから言われましたように、スケジュールや市の方向を示しながらやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。
委員長	ありがとうございました。 最後に、本日は教育長が出席されておりますので、あいさつをお願いします。
教育長	遅くに来て失礼いたします。 伊良湖岬中学校の統合先について、地域で話し合う中で多くの意見を聞いてまいり

	<p>ました。たくさんの意見を聞いてきたので、今年度末に統合先を決定したいと思っていましたが、決め切れないということなので、本年度のメンバーに新たなメンバーを加えて、できれば来年度の早めに統合先を決定したいと思っています。中学校の統合先については、ゆっくり穏やかにしっかり皆さんの意見を受けとめてという部分もありますので、伊良湖岬中学校の統合先の決定時期を来年度に先送りしますが、いつまでもずるずるはやれないので早い段階で決定したいと考えています。</p> <p>なぜ中学校の統合先を早めに決める必要があるかということ、子どもたちにとっては、学生服、セーラー服、体操服、自転車も含めて、非常にいろいろな準備が必要になります。学校側も、部活動を含めて、行き先と統合時期を決めていかないと、小学校以上にたくさん決めなければならない部分があると思っています。平成28年4月から野田中学校が田原中学校に統合します。野田中学校の統合の様子、田原中学校へ行った様子なども見せてもらう中で、準備を進めていきたいと考えております。</p> <p>泉中学校の再編につきましても、皆さんの要望がかなえられるように教育委員会も今後努力していきたいと思うのですが、なかなか全ての要望を受け入れられるかどうか、全て受け入れたいところですが、なかなか全部の望みをかなえるのは難しい部分もあります。今後、子どもの声や保護者、地域とさらにもう1歩踏み込んだ声を聞きながら、統廃合の時期も含めて、具体的にどうするのか、いつ動くのか、行き先と時期をしっかり考えて、準備期間も必要になると思いますので、来年度の早い段階で、方向性が具体的になっていくようにしたいと考えております。</p> <p>お忙しい中、お疲れの中お集まりいただくのは、まことに心苦しいですが、御協力いただきながら、子どもたちの未来のために、みんなで知恵を振り絞って、いい結論を出していけたらと考えております。今まで1年間、皆様方には大変御足労いただきまして、ありがとうございました。来年度も少しお力を借りながら、いい話し合い、結論に持っていけたらと思いますので、引き続き御理解と御協力をお願いしたいと思います。大変ありがとうございました。</p>
委員長	<p>教育長、ありがとうございました。</p> <p>やはり私たち役員は、子どもたち、このまちのため、よく考えてみんなで頑張っていきたいと思いますので、よろしく願います。</p> <p>以上をもちまして、第3回泉中学校再編検討委員会を終了いたします。</p> <p>御協力ありがとうございました。</p>